



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆ 10月の目標

☆安全の「あ」  
健康な自分・・・  
※体力づくりをしよう  
※手洗い、うがいを  
しよう



☆配布物のお知らせ

1 学校便り 30号

☆保護者の会から

1 ベル当番・安全パトロール  
のお知らせ

☆今後の主な予定

- ・10月22、29日、  
11月5日  
個人懇談会
- ・10月29日  
授業参観、弁論大会  
漢字検定、バザー

「楽しかった運動会」の作文



☆うんどう会  
二年三組

村上正より

六十メートルそうでは、せすじをのぼして、前だけを見てはしりました。さいしよは、はしるのがいやだったけど、おわたつあとは、よかったというきもちでした。玉入れがっせんでは、かごをねらって玉をなげました。玉をなげている時にまけるかなと思ったら本当に負けてしまいました。大玉ころがしでは、ぼくは二かいはしりました。いっしよにはしった人とは、はやさが合わなくてむずかしかったです。うんどう会は、たのしかったです。



☆うんどう会  
二年三組

さいとうみのり

きのう、日本語学校のうんどう会で、大玉ころがしとかけっこと玉入れをしました。さいしよにかけっこをしました。かけっこで二ばんめにゴールしました。三年生になったら一ばんにやりたいです。



☆うんどう会  
二年三組

えんどうゆう花

土曜日にほしゅう校のみんなで、うんどう会をしました。わたしは、赤ぐみでした。さいしよに六十メートルそうにでました。二いでした。つぎにトルネードせん風では、四人でぼうをもつて、はしりました。大玉ころがしと玉入れがっせんをしました。玉入れがっせんでは、赤ぐみが二回かってうれしかったです。らい年は、六十こ



☆うんどう会  
二年三組

きた口 りんか

うんどう会ががんばったことは、大玉ころがしと玉入れです。大玉ころがしでは三回もころんでしまったけど、大玉をつぎの人にわたせました。玉入れは、たいようがまぶしくて、なかなかかごが見れなかったけどがんばりました。わたしの赤ぐみは、まけてしまいましたけど、たのしくできました。



☆えにっき  
一年二組

やまなか きぬ

かみのけをぐちゃぐちゃにするひがありました。おもしろかったです。みつあみのなかにはりかみをいれました。わごむもいれました。りほんもいれました。そのひはすきでした。

☆俳句作品選集  
五年一組

子どもたちが選んだ

☆ベスト6

- 一位 日がくれて ほたるの  
ショーの 始まりだ
- 二位 せみの声 命少なく  
鳴きつづく 航木
- 三位 冬の夜 夜空の星よ  
まい上がれ 眺
- 四位 真っ暗だ 火花があがる  
きれいだな 花藍
- 五位 タンポポを めいてもほえ  
強い草 日置 庵文
- 六位 冬になり 雪がおどって  
キラキラと 杉原 広大



☆学校の遠足  
三年一組

栗原 明衣

わたしは、げん地校で遠足へ行きました。行ったところは、コナープリーです。わたしは、母と三人の友だちといろんな写真をとって楽しみました。一番楽しかったのは木の家でした。秋になると遠足に行けるからうれしいです。



「平和のとりでを築く」を読んで  
六年一組 田原 侑来

私がこの物語を読んで共感した部分は、原爆ドームを保存するかどうかの問題で、取りこわしてほしいという人の意見です。

理由は、自分もつらいことを思い出すようなものはあまり見たくないし、この取りこわしてほしい」という人の中には、家族やとても大切な人をなくしているの、よりつらいと思っただけです。けれど、この建物のおかげで今の平和があると思うので、少女の日記に書いている「いつまでのおそろるべき原爆のことを後世にうったえかけてくれるだろう。」という事は、すごく納得できます。逆に疑問に思ったことは、どうしてこんなことになったのか、不思議に思います。なのでそこをもっと知りたいと思いました。

最後には私が思う平和とは、世界中の一人ひとりが相手のことを思って協力し合うことが、平和ということだと思います。これからもこんなおそろしいことが二度と起こらないような平和な世の中であってほしいと、強く思いました。



「平和のとりでを築く」を読んで  
六年一組 池田 真彬

ぼくが共感した部分は、原爆ドームを永久保存にすると決めたことです。なぜなら、原爆ドームを残すことは、おそろしい原爆のことをいつまでも忘れないでいられるからです。

もっと知りたいと思ったことは、なぜ戦争が起きるのかということを知りたいです。国と国が話し合いをして解決できたら、戦争なんて起こらないのと思います。戦争を起してもいいことは何もないと思います。多くの人々がなくなったり、悲しい思いをするだけだと思います。この原爆ドームを見て今生きている人々は、一度と戦争や原爆を使っ

「平和のとりでを築く」を読んで  
六年一組 大幡 蘭

この本を読んで、私は戦争のおそろしさを知りました。これまでは、戦争はこわいなぐらいでしたが、この本を読んで、もっとおそろしさを知り、戦争は二度と起きてほしくないと思いました。

この筆者の大幡田さんもおっしゃっているように、私は共感しました。多分、戦争が起きてほしいという人は一人もいないと思います。皆、平和な世界を願っているはずなんです。もちろん私も同じです。皆が皆、戦争が起きてほしくないというのなら、なぜ戦争が起きるのかが、私は疑問でした。多分、戦争が起きるの、戦争などなければ、多くの人々の命も救われなくてすんだのだと思います。

国連ユネスコ憲章に、戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」とあります。一人ひとりが平和を願えば、平和な世界になると思います。だから私はこの本を世界の人に読んでもらいたい。世界に平和がもたらされてほしいです。そして、地球に幸せをもたらして欲しいから、私はとてもうれしかったです。

「平和のとりでを築く」を読んで  
六年一組 降矢 望空

私が共感した所は、原爆ドームを取りこわしたほうが良いと、少し思いました。なぜかと言うと、見ると悲しい思い出がくるからです。なぜ広島に原爆が落とされたのか疑問に思います。なぜなら広島には目立つ建物(原爆ドーム)があるからです。

もっと知りたいと思う所は、原爆ドームの保存のしかたが知りたいと思いました。なぜかと言うと、原爆ドームはほぼ炎上して、骨組みの一部だけが残って放射線にかかっているからです。平和について考えたことは、たった一度の原子爆弾で多くの人の命がうばわれてしまいました。原爆は世界中の誰一人幸せにはなれません。原爆で亡くなった人の命や人生の代償に、平和を守り続けなければいけません。

☆もいわたしが  
アーティストだったら  
三年二組 緒方 心葉

「ちょうどだね」友だちにかいた絵をほめられて、アーティストになりたいと思っていました。アーティストになれたら、やってみたいことが三つあります。

一つ目は、学校のびじゅつのはなをきかきあげたいです。二つ目は、家のかべや木のテーブルやいすにいろいろな絵をかいて、自分のこのみのへやにしたいです。さいごに、作品を作った自分のへやをオリジナルにしたいです。



☆もいわたしが  
ドラえもんだったら  
三年二組 丹野 ゆき

もしわたしがドラえもんだったら、いろんな道具を出して楽しいことをしたいです。

はじめにカチンカチンライトを使ってみます。カチンカチンライトは、けむりや人、水などの形のないものをカチンカチンにかためる道具です。わたしは、にじをかためてのぼりたいです。でも、かためたものは、五分たつと元にもどってしまうので、気をつけなければいけません。

一番使いたい道具は、どこでもドアです。行きたい場所を言ってドアを開けると、その場所に行けるとてもべんりな道具です。わたしは、どこでもドアを使って日本に行ったり、世界中をたびたいです。ひこきにのらなくてもいいので、お金も使わないですぐに着きます。ほかにも、べんりな道具を使っているんなことをしたいです。



☆もうすぐ  
かやってくる  
三年一組 相沢 優心

ぼくが秋になって楽しみなことは、三つあります。一つ目は、おばあちゃんが十月十六日にアメリカに来ることです。どうしてかという、ぼくはたんじょう日にプレゼントを買ってもらえるからです。

二つ目は、秋休みです。みんなでりんごがりやカバードブリッジフェスティバルへ行くのが楽しみです。三つ目は、ハロウィンです。ぼくはレゴにんじやにかそうします。おかしをもちょうのがおもしろいです。去年よりおかしをもっともらいたいです。

今年はおばあちゃんがいるので、楽しい秋をすごしたいです。



☆楽しいハロウィン  
三年一組 まつば はるの

わたしの秋の楽しみなことは、ハロウィンです。なぜかという、いろんなおかしをもらったりしておもしろいし、楽しいからです。

今年のわたしは、ヒョウのかそうをしたいと思っています。去年は、まじよのかそうをしました。わたしは、あんまりはでないし、しょうきたくないので、暗い色のまじよでいきました。でも、今年はおもいきってヒョウのかそうにきめました。なぜかという、今年わたしは、さいごのアメリカでやるハロウィンだからです。



